

地域別性別身長及体重發育不良ノ大々下其ノ有意性

環	府	國民學校	身 長				体 重				
			男	子	女	子	男	子	女	子	
			差ノ有意性 $\frac{D_{12}-D_{11}}{\frac{\sigma_{12}^2 + \sigma_{11}^2}{n_{12} + n_{11}}}$		差ノ有意性 $\frac{D_{12}-D_{11}}{\frac{\sigma_{12}^2 + \sigma_{11}^2}{n_{12} + n_{11}}}$		差ノ有意性 $\frac{D_{12}-D_{11}}{\frac{\sigma_{12}^2 + \sigma_{11}^2}{n_{12} + n_{11}}}$		差ノ有意性 $\frac{D_{12}-D_{11}}{\frac{\sigma_{12}^2 + \sigma_{11}^2}{n_{12} + n_{11}}}$		
			(cm)		(cm)		(cm)		(cm)		
環	北 海道	道 庁 天 下	12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-2.27	0.55	0.77	-0.58	-1.28	-0.87	-1.65	
			7才-12才間ノ身長ノ差	-1.59	-3.51	-3.87	-6.48	-0.48	-1.28	-0.82	-1.79
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-1.17	-2.51	-2.21	-4.46	-0.81	-2.12	-4.35	-2.95
			7才-12才間ノ身長ノ差	-2.41	-4.74	-2.23	-3.37	-0.73	-1.74	-1.68	-3.28
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	1.77	-3.28	-1.99	-2.54	-1.42	-3.12	-0.31	-0.51
			7才-12才間ノ身長ノ差	-2.24	-8.44	-1.92	-3.43	-1.10	-3.01	-1.08	-2.51
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-1.39	-3.10	-0.92	-1.57	-2.88	-4.75	-2.99	-8.33
			7才-12才間ノ身長ノ差	-3.29	-8.84	-0.92	-1.57	-1.99	-8.49	-2.99	-8.33
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-1.63	-3.52	-1.92	-2.53	-0.90	-2.59	-0.28	-0.57
			7才-12才間ノ身長ノ差	-1.47	-4.93	-2.21	-3.57	-0.07	-4.19	-0.37	-0.92
工 業 地	北 海道	道 庁 大 野 川	12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-2.04	0.56	0.91	1.80	-0.43	-1.11	-0.43	-1.11
			7才-12才間ノ身長ノ差	-1.47	-3.14	-2.21	-3.57	-0.12	-0.44	-0.21	-0.68
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-0.99	-2.25	-2.80	-5.38	0.80	2.42	1.21	3.42
			7才-12才間ノ身長ノ差	-3.35	-6.59	-1.58	-2.72	-1.04	-2.72	-1.04	-2.40
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-2.62	-4.88	-2.97	-4.10	-2.26	-5.15	-2.91	-6.13
			7才-12才間ノ身長ノ差	-1.95	-5.91	-1.61	-3.26	-1.18	-4.65	-0.60	-1.86
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-1.50	-2.92	-2.87	-3.85	-1.87	-4.75	-2.01	-4.14
			7才-12才間ノ身長ノ差	-2.19	-4.22	-2.66	-4.02	-1.65	-4.26	-2.72	-6.30
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	0.01	0.62	-0.55	0.96	-2.16	3.11	-1.42	2.92
			7才-12才間ノ身長ノ差	-1.02	-3.87	-1.38	-1.94	-1.10	-2.53	-1.45	-3.13
住 宅 地	東 京 府	都 庁 荒 川	12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-3.98	-8.47	-5.35	-4.26	-1.70	-3.26	-2.61	-5.00
			7才-12才間ノ身長ノ差	-0.52	0.94	1.40	1.94	0.18	0.44	-1.42	-3.10
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-2.18	-3.87	-1.38	-1.94	-1.10	-2.53	-1.45	-3.13
			7才-12才間ノ身長ノ差	-1.02	-1.82	0.29	1.34	0.27	0.82	-3.04	-2.82
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-1.50	-2.92	-2.87	-3.85	-1.87	-4.75	-2.01	-4.14
			7才-12才間ノ身長ノ差	-2.19	-4.22	-2.66	-4.02	-1.65	-4.26	-2.72	-6.30
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	0.01	0.62	-0.55	0.96	-2.16	3.11	-1.42	2.92
			7才-12才間ノ身長ノ差	-1.02	-3.87	-1.38	-1.94	-1.10	-2.53	-1.45	-3.13
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-2.18	-3.87	-1.38	-1.94	-1.10	-2.53	-1.45	-3.13
			7才-12才間ノ身長ノ差	-0.52	0.94	1.40	1.94	0.18	0.44	-1.42	-3.10
業 地	大 阪 府	府 庁 大 野 川	12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-2.04	-4.70	-3.07	-4.55	-2.36	-9.07	-3.13	-9.11
			7才-12才間ノ身長ノ差	-2.32	-6.20	-2.72	-5.49	-1.28	-4.69	-1.11	-3.45
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-0.66	-1.28	-1.03	-1.35	0.83	2.06	-0.92	-1.90
			7才-12才間ノ身長ノ差	0.66	1.42	-1.24	-2.15	-0.81	-2.25	-1.82	-4.87
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	0.74	1.00	-1.05	-1.30	-2.12	-4.08	-0.7	-1.13
			7才-12才間ノ身長ノ差	0.19	0.31	2.15	2.21	-0.46	-0.5	-1.1	0.5
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	-2.33	-2.34	0.57	0.55	0.37	0.44	-0.7	0.33
			7才-12才間ノ身長ノ差	-1.73	-2.55	-0.33	0.32	-2.00	-3.5	-0.44	0.9
			12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	0.62	1.28	-1.15	-1.79	0.16	0.4	0.7	0.3
			7才-12才間ノ身長ノ差	0.00	0.00	-0.01	-0.01	-1.67	-3.29	-1.22	-2.02
12年度學童ノ身長ノ平均値ノ差	0.20	0.28	-2.02	-2.00	-1.45	-2.52	0.50	0.5			
7才-12才間ノ身長ノ差	0.12	0.17	1.33	1.33	-1.45	-2.52	0.50	0.5			

對象別調查成績

其ノ二 班 婦

目次

一、調查對象

(一) 調查地區

(二) 調查人員

二、調查方法及調查時期

三、調查項目

(一) 妊娠以後，諸種疾患罹患率

(二) 主食

(三) 副食

四集計概要
五總括

一 調査対象

- 一 調査地区
 - 東京都
 - 宮城県
 - 石川県
 - 愛知県
 - 福岡県
 - 大阪府

二 調査人員

年令十七才ヨリ四十八才迄ノ妊婦九七九一人ナリ

三 調査方法及調査時期

調査ハ前記各都府縣廳又ハ産院等ヲ通シ所定ノ調査票ヲ用ヒ、妊婦ニ記入セシメタルモノニシテ、昭和十八年十月三十日ヨリ十二月二十三日ノ期間ニ於テ之ヲ行ヒタリ。而シテ之ガ集計ニ當リテハ左ノ如ク大都市、中小都市及郡部ノ三階級地區ニ分類シ、昭和十七年度ニ於ケル同様ノ妊婦調査成績ト比較セリ。依リテ昭和十七年ニ於ケル集計分類内容ヲモ併記セリ。

但シ十七年度ノ成績ハ十七年十一月末ニ報告ヲ了セシ後ニ集計セルモノヲ
追加シ訂正シタルモノナリ

昭和十八年度
昭和十七年度

大都市

東京都、大阪市、名古屋
市、横浜市、神戸市、京

市

都市

中小都市

金澤市、福岡市、小倉市
金沢市、川口市、七尾市

大牟田市、飯塚市、若松
堺市、岸和田市、尼崎市

市、直方市、八幡市、門
西宮市、姫路市、伊丹市

司市、久留米市、戸田市
直方市、八幡市、門司市

田川市、布施市、吹田市
八王子市、廣島市

貝塚市、泉大津市、高槻

市、池田市、豊中市、堺

市、岸和田市

郡部

宮城縣、石川縣、愛知縣
東京府、愛知縣、石川縣

福岡縣、大阪府
大阪府、兵庫縣、群馬縣

福岡縣、宮城縣、埼玉縣

三、調査項目

(一) 妊娠以後、諸疾患罹患率

(二) 主食

(三) 妊婦家庭、主食攝取状態

(四) 種類、方法、回数、量

(五) 副食

(六) 材料購入状態

(七) 左記食品攝取状態

魚介類及加工品、味噌、卵、豆類、油、果物

四、集計概要

昭和十八年十月三十日ヨリ十二月二十三日ニ亘リ妊婦九七九一人ニ就テ行ヒタル調査成績概要ハ左ノ如クニシテ、之ヲ昭和十七年同時期ニ、前記地方ニ於テ行ヒタル調査成績ト比較セリ。

(一) 妊娠以後、諸種疾患罹患率

第1表ニ示ス如ク脚気ハ大都市及中小都市ハ共二・一％、郡部九％ニシテ昭和十七年度ニ比シ、何レモ約三％増加セリ。

ムシ歯、罹患率ハ二・二―二・五％ニシテ昨年度ニ比シ、九・一―一・一％増加セリ。結核性肺疾患、腎臓、下痢、腸炎、夜盲症等ハ何レモ罹患率小ニシテ、昨年度ニ比シ著差ヲ認めズ。但シ、本疾患ハ医師ノ診断ニ非ズシテ妊婦ニ記載セシメタルモノナリ。

第 1 表 妊娠後以迄諸種疾患罹患率

地域名	大 都 市	中 小 都 市	郡	部	總	計
年 度	17	18	17	18	17	18
人 数	6986人	4835人	1819人	1376人	2732人	3580人
抑 疾	9.7%	12.9%	9.2%	12.4%	6.1%	9.0%
結核性肺炎患	0.8	1.0	0.9	0.6	0.5	0.7
腎 臓 炎	2.3	2.9	2.4	4.1	1.8	4.0
下 痢 腸 炎	1.8	2.6	2.1	3.8	2.5	4.0
疾 首 症	0.2	0.5	0.5	0.9	0.3	0.8
人 口	14.5	23.8	14.8	25.5	11.7	22.8
總 計	13.9	23.7	13.9	23.7	13.9	23.7

(三) 主 食

小姓婦家庭ノ主食攝取状態

第2表ニ示ス如ク、配給米ニテ不足ト訴フルモノ大都市ニテ八八四%ニテ昨年度ヨリ一四%高ク、中小都市八九二%ニシテ一一%高ク、郡部七八%ニシテ、之モ一〇%高シ。即チ中小都市ハ兩年度共ニ配給米ノ不足ヲ訴フルモノ最高率ナリ

(四) 種類、方法、回数、量

主食ノ種類ニ就テハ、第3表ニ示ス如ク、玄米ヲ攝ルモノハ大都市六%中小都市及郡部八%ニシテ、昨年度、〇.一一%ニ比シ激增セリ。尚郡部ニテハ白米ヲ攝ルモノ八%アリ、之ハ昨年度ニ比シ五%減ニ當ル。主食攝取方法ニ就テハ第4表ニ示ス如ク、一日一回以上「オチヤ」ヲ食スル

表九 世帯家庭、主食攝取状態

地域名	年度	世帯数	足	
			二	十
大都市	17	6,899	29.5%	70.5%
	18	4,805	15.1	84.9
中大都市	17	1,749	18.4	81.6
	18	1,378	7.4	92.6
郡部	17	24,366	31.4	68.6
	18	32,644	21.2	78.9
総計	17	110,844	28.2	71.8
	18	94,177	16.1	83.9

モ、大都市五一%、中小都市四七%、郡部二八%ニシテ、昨年度ニ比シ何
 レモ五倍トナレリ。一日一回以上「カエ」ヲ攝ルモノ、大都市五三%ニシテ
 昨年度ニ比シ四〇%ノ増加ヲ示シ、中小都市ニテハ七二%ニシテ三七%
 増加ナリ。郡部ハ四六%ニシテ、之亦二五%ノ増加ナリ。即チ「カエ」
 及「カエ」ヲ食スルモノ、昨年度ニ比シ激増シ、特に大都市、中小都市ニ
 於テ甚シ。

主食ノ回數ニ就イテハ第五表ニ示ス如シ。即チ一日二回以下食スルモノ
 ハ大都市四%、中小都市七、九%、郡部約二%ニシテ、中小都市ハ最高率ヲ
 示シ昨年度ニ比シ約七%ノ増加ナリ。一日三回以上食スルモノ、ニ就テハ
 昨年度ト大差ヲ認メズ。

主食ノ量ニ就テハ第六表ニ示ス如ク、一日七杯以下ノモノ、ハ大都市三二

名、中小都市五四名、郡部二六名ニシテ、中小都市最多ク昨年度、半比ニ約
 二五名増加ヲ示セリ。反之、一日一三杯以上攝取スルモノハ三者共激減シ、
 特ニ中小都市ニ於テ甚シ。但シ調査表ニ記入セル大、中、小杯ヨ大二三、
 中、一口、小口七ノ比ニテ中杯ニ換算セルモノナリ、

第 3 表 主 食 類

地 域 名	年 度	人 数	白 米	七分搦米	玄 米
大 都 市	17	6086人	0.7%	3.8%	0.1%
	18	4835	1.1	9.8	6.9
	17	1819	3.9	35.0	0.2
中 小 都 市	18	1376	1.2	17.2	8.2
	17	2732	13.2	28.7	0.1
	18	3580	8.6	34.9	8.4
郡 部	17	11537	4.2	14.6	0.1
	18	9791	5.3	8.5	7.8
總 計					

第4表 主食の採取方法

地域名	年度	人数	数	才	ボ	カ	工	取
大都市	17	6986人		10.3%		13.4%		96.7%
	18	4835		15.9		53.3		93.3
中小都市	17	1819		8.6		25.5		97.5
	18	1376		47.7		72.5		86.9
郡部	17	2732		5.1		21.1		95.6
	18	3580		28.7		46.7		94.2
總計	17	11537		8.8		17.2		96.7
	18	9791		42.8		53.6		92.7

第5表 主食の1日取量

地域名	年度	2回以下	3回	4回	5回以上
大都市	17	1.4%	95.0%	3.2%	0.4%
	18	4.3	93.3	2.2	0.2
中小都市	17	0.7	96.9	1.7	0.7
	18	7.9	90.4	1.5	0.1
郡部	17	0.3	95.8	2.5	1.4
	18	1.8	95.7	1.9	0.6
總計	17	1.0	95.5	2.8	0.7
	18	3.9	93.7	2.0	0.4

地 域 名	年 度	杯 数		
		7 杯 以 下	8 杯 ~ 12 杯	13 杯 以 上
大 都 市	17	28.3 %	62.4 %	9.3 %
	18	32.8	63.6	3.6
中 小 都 市	17	29.3	60.6	10.1
	18	54.1	44.0	1.9
郡 部	17	20.8	62.3	16.9
	18	26.2	67.3	6.5
總 計	17	26.6	61.9	11.5
	18	33.4	62.2	4.4

(三) 副 食

1) 材 料 購 入 状 態

妊婦自ラ食料ヲ購入スル場合ハ、第7表ニ示ス如ク、大都市ハ九%ニシテ昨年度ト大差ナク、中小都市ハ八%ニシテ四%高ク、郡部ニ於テハ五九%ニシテ約一〇%減少セリ。

又妊婦自身が食料買入ニ要スル時間ハ第8表ノ如ク、大都市ニテハ一時間未満ノモノ四九%アリ、昨年度ヨリ三四%増加セルモ、二時間以上ヲ要スルモノ昨年度四八%ニ対シテ本年度八一四%ニ減少セリ。中小都市ニテハ一時間未満ノモノ一四%ニシテ、昨年度ヨリ一五%減少シ、二時間以上ヲ要スルモノ昨年度二四%ニ対シ本年度五四%トナリ實ニ三〇%増加セリ。郡部ニテハ一時間未満ノモノ五二%ニシテ、昨年度ヨリ二一%増加セルガ

二時間以上ヲ要スルモノモ三七%ト、昨年度ニ比シ一七%増加シテ好マシキ傾向ト好マシカラサル傾向ト相半バセリ。要之、食料購入状態ニ就テ八十七年度調査ニテハ大都市が最も不良ナル傾向ヲ示セルガ、十八年度本調査ニ於テハ其ノ地位ヲ中小都市ニ譲レリ。

調査ノ大要 調査項目 調査人員 トル

地域名	年度	人数	返	帰
大都市	17	6986人		88.0 %
	18	4835		89.3
中小都市	17	1819		84.6
	18	1375		88.4
郡部	17	2732		69.5
	18	3580		59.6
總計	17	11537		83.0
	18	9791		78.3

三頁

第 8 表

妊婦自身が食料買入に要スル時間

単位

地 域 名	年 度	1時間未満				1~2時間未満				2~3時間未満				3時間以上			
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合		
大 都 市	17	15.0	%	36.8	%	29.5	%	18.7	%								
		18	49.6		36.0		10.6		3.8								
中 小 都 市	17	29.4		45.8		17.2		7.6									
		18	14.9		23.4		30.3		24.1								
郡 部	17	31.4		47.8		14.8		6.0									
		18	52.9		9.9		25.3		11.8								
總 計	17	20.3		40.4		24.8		14.5									
		18	44.8		28.2		17.7		9.3								

(1) 各種副食品攝取状況

菓子類及加工品ヲ三日一回以上攝ルモノハ第9表ニ示ス如ク 大都市ニ
 テ八一%ニテ昨年度ヨリ三一%減少セリ。中小都市ニテ八五%ニシテ
 昨年度ニ比シ一ニ%ノ減少、郡部三七%ニシテ之亦一%ノ減少ナリ。即
 チ菓子類及加工品ノ攝取ハ之ヲ攝取回数ヨリ觀レバ大都市最モ劣シリ。
 味噌ヲ三日一回以上攝ルモノハ、第10表ニ示ス如ク、大都市八九%ニシ
 テ昨年度ニ比シ七%ノ増加ナリ。中小都市八九%、郡部九%ニシテ、中
 小都市ハ昨年度ニ比シ四%ノ増加、郡部ニテ八一%ノ増加ナリ。即
 チ味噌ノ攝取回数ハ三者共大差ナシ。

卵ヲ三日ニ一回以上攝ルモノハ、第12表ニ示ス如ク、總計ニテ六%ニテ
 少ク、最多ノ郡部モ一%ナリ。何レモ昨年度ニ比シテ大差ヲ認メズ。

豆類ヲ三日一圃以上攝取スルモノハ、第12表ニ示ス如ク、總計ニテ九名ナ
 ルが郡部一七%ニテ最多ク、昨年度ニ比シ、五名増加セリ。他ハ四―五%
 ニシテ少ク、何レモ昨年度ト大差ヲ認メズ。

果物ヲ三日一圃以上攝ルモノハ、第13表ニ示ス如ク、大都市ニテ八二%
 %ニテ昨年度ヨリ二五%減少、中小都市ハ三〇%ニシテ、同シク二八%減
 少シ、郡部三二%ニシテ一五%減少セリ。果物ノ攝取圃數ハ大都市最少シ。

油ヲ三日一圃以上攝ルモノハ、第14表ニ示ス如ク、總計ニテ一三%大
 都市一八%、中小都市八%、郡部九%ニシテ、昨年度ニ比シ大都市六%増
 加シ、中小都市一三%減少シ、郡部ニテハ大差ヲ認メズ。即チ油ノ攝取圃
 數ニ就テハ、十七年度調査ニ於テハ中小都市が首位ヲ占メタルが十八年度
 調査ニ於テハ大都市優レリ。

第九表 果物の種類及び割合

地域名	年	人数	圃		ナ	入
			4日以上	2日/圃~3日/圃		
大都市	17	69,861	14.0%	28.9%	32.6%	24.5%
	18	48,355	3.8	8.1	84.2	3.9
中小都市	17	18,199	35.8	26.7	26.1	11.4
	18	13,766	20.6	29.9	41.6	7.9
郡部	17	27,322	22.5	25.3	34.2	18.0
	18	35,880	16.9	20.6	49.7	12.8
總計	17	115,377	19.14	27.7	32.0	20.9
	18	97,991	11.0	15.7	65.6	9.7

地域名	年度	人数	1日/回以上		2日/回 ~ 3日/回		4日/回以下		不 記 入
			人数	%	人数	%	人数	%	
大都市	17	6986人	68.5%	13.8%	13.8%	3.9%			
	18	4835	69.0	20.6	9.4	1.0			
中小都市	17	1819	65.4	19.8	9.2	5.6			
	18	1376	68.8	21.0	8.4	1.8			
郡	17	2732	65.0	12.9	16.6	5.5			
	18	3580	74.4	15.7	7.1	2.8			
總計	17	11537	67.2	14.5	13.7	4.6			
	18	9791	70.9	18.9	8.5	1.7			

地域名	年度	人数	1日/回以上		2日/回 ~ 3日/回		4日/回以下		不 記 入
			人数	%	人数	%	人数	%	
大都市	17	6986人	1.7%	2.8%	47.5%	48.0%			
	18	4835	2.2	1.6	41.7	54.5			
中小都市	17	1819	0.7	2.6	18.6	18.1			
	18	1376	10.7	1.2	25.9	69.2			
郡	17	2732	3.9	5.7	26.1	64.3			
	18	3580	5.7	4.9	20.8	68.6			
總計	17	11537	2.1	3.4	37.9	56.6			
	18	9791	3.3	2.8	32.2	61.7			

第12表 豆類

地域名	年度	人数	1日/圃以上				及 無記入 %
			1日/圃以上	2日/圃 ~ 3日/圃	4日/圃 ~ 4日/圃以下	無記入	
大都市	17	69,864	0.9%	4.4%	42.6%	52.1%	
	18	48,335	1.4%	2.6%	56.2%	40.8%	
中 小都市	17	18,199	1.3%	4.2%	24.6%	69.9%	
	18	13,776	1.2%	4.4%	37.3%	57.1%	
郡 部	17	27,322	3.9%	8.4%	38.1%	49.6%	
	18	35,800	7.0%	10.6%	39.8%	42.1%	
總 計	17	115,337	1.7%	5.3%	38.7%	54.3%	
	18	94,991	3.4%	5.8%	47.4%	43.4%	

第13表 米類

地域名	年度	人数	1日/圃以上				及 無記入 %
			1日/圃以上	2日/圃 ~ 3日/圃	4日/圃 ~ 4日/圃以下	無記入	
大都市	17	69,864	27.5%	20.2%	18.4%	33.9%	
	18	48,335	10.1%	12.5%	64.7%	12.7%	
中 小都市	17	18,199	35.6%	23.1%	17.9%	23.4%	
	18	13,776	15.0%	15.3%	41.6%	28.1%	
郡 部	17	27,322	31.6%	16.0%	16.0%	36.4%	
	18	35,800	21.3%	11.1%	25.9%	41.7%	
總 計	17	115,337	29.7%	19.7%	17.8%	32.8%	
	18	94,991	14.9%	12.4%	44.3%	25.4%	

地名	年度	人数	1日/週以上			2日/週~3日/週		4日/週以下	ナシ 記入
			%	%	%	%	%		
大都市	17	69,864	3.3	9.6	59.5	27.6			
	18	48,335	5.4	13.2	68.5	12.9			
中小都市	17	18,199	2.8	18.2	52.3	26.7			
	18	13,766	2.2	6.0	63.6	28.2			
郡部	17	24,223	1.9	4.4	58.8	31.9			
	18	35,800	2.6	6.9	63.5	27.0			
合計	17	115,377	4.7	9.4	58.2	24.7			
	18	97,911	3.9	9.9	66.0	20.2			

昭和十三年頃ヨリ始マツテノ通増傾向ハ應召及徴用等ニヨル強壯者ノ
 離職 弱体者ノ新就職ニ因ル虚弱者ノ比率増加及持局下ノ労作過重
 等ニ起因スル現象ト思ハレルガ、食料採掘ノ開始セラレタレバ昭和十五
 年以後特ニ昭和十七年ニ於ケル激増ハ上記要約ニ加マルニ現下ノ通
 直セル食糧事情ノ影響ニヨル栄養低下ニ因ルモノト思ハレル。

(四) 脚氣及消化器疾患

前回調査ノ資料ニヨル脚氣及消化器疾患ハ鉄道通信所等職員共ニ既
 ニ昭和十三年頃ヨリ通増傾向ヲ示シ其ノ原因ハ結核性疾患ト同様
 考ヘラレタレキルガ、今次ノ調査資料ヨリ昭和十七年ノ罹患率ヲ見ル
 ニ河上ニ激増シテキル

尚國民學校教員ニ於テハ胃腸疾患ノ罹患率ハ稍々漸減ノ傾向ヲ示シ
テ本ルガ、栄養障害疾患タル脚氣ノ罹患率ハ兩首職員ト同様ニ近年
高率ヲ示シテ本ル。

斯クノ如ク都市給料生活者ノ脚氣及消化器疾患ノ罹患率ハ一般ニ増
加ノ傾向ヲ示シ殊ニ昭和十七年ニ於テハ一層ノ増加ヲ示シテ本ルガ
コレハ時局下ノ栄養事情ノ影響ニ因ルモノト思ハレル

(四 表 添 付)

對象別調查成績

其ノ三 重要事業場勞務者

〔今年度調査成績ハ厚生省勤勞局ノ調査
資料ニ據ル〕